

効果的な「がん教育」の進め方、第2弾

“命の大切さ・がんとともに生きる”学びを深めるためには？

文部科学省は「がん教育」のモデル校を中心に、教材及び指導参考資料の作成や指導者の確保・研修、評価等の準備を行い、平成29年度以降「がん教育」の全国推進を図ることにしています。この「がん教育」の目標は、①がんについて正しく理解でき、②自他の命の大切さ及びがんと共に生きることを主体的に考えることができるようにするとされています。「がん教育」の在り方に関する検討会は、②に関わる教育内容として「がん患者への理解と共生」を取り上げています。この命と共生の育成は、社会性や自主性・自律性が培われる小学校からが望ましく、がんと向き合う人々と触れ合う機会が増大している状況下では、可及的速やかにとりかかる必要があります。

そこで、本講座では、命と共生の育成に効果的な「がん教育」の進め方について、その目的・目標(知識・技能、思考・判断・表現力、主体的学習態度)、内容・教材(行動変容、ライフスキルなどの知見の導入)、方法(問題解決学習、体験学習などの活用)、評価(形成評価等)ないしこれらが反映されている学習指導過程(主体的・対話的・深い学びの過程＝アクティブ・ラーニング)の視点から小学校実践例を通して考えます。

特別講演

学校健康教育における「がん教育」の進め方

講師 衛藤 隆先生

東京大学名誉教授

文部科学省「がん教育」の在り方に関する検討会委員長

座長 川田 智恵子先生

NPO法人日本健康教育士養成機構理事長

和歌山県立医科大学大学院教授



衛藤 隆先生

プログラム 13:00 開会

13:05 特別講演

14:45 シンポジウム

16:00 閉会

※参加費は当日受付にてお支払下さい。

ご希望の方は [こちら](#) からお申込み下さい。

E-mail 及び Fax でも受け付けます。

E-mail：第3回食・健康を学ぶ会「公開講座」として、氏名・所属・連絡先・該当項目を記入し、

NPO 法人日本健康教育士養成機構事務局 (npoh@eiyo.ac.jp) までお送り下さい。

シンポジウム

“命の大切さ・がんとともに生きる“学びを深める学習指導過程の効果的な展開

座長 大津一義先生(日本ウエルネススポーツ大学)

基調実践報告

「がん教育」の授業づくり ～家族のQOLの向上に着目して～ 黒崎 宏一 (千葉県船橋市七林小学校)

シンポジスト

○乳がん患者の家族の立場から

鳥居 哲夫 (日本ウエルネススポーツ大学)

○「いのちの教育」推進の立場から

菊田 文夫 (聖路加国際大学)

○専門健康教育士の立場から

前上里 直 (北海道教育大学)

○指導者研修の立場から

鎌田 尚子 (足利工業大学)

指定発言者

○小学校「がん教育」実践者の立場から

佐藤久美子

(東京都文京区立駕町小学校教諭、実践健康教育士)

白石 孝久 (早稲田大学教師教育研究所・東京都教員)

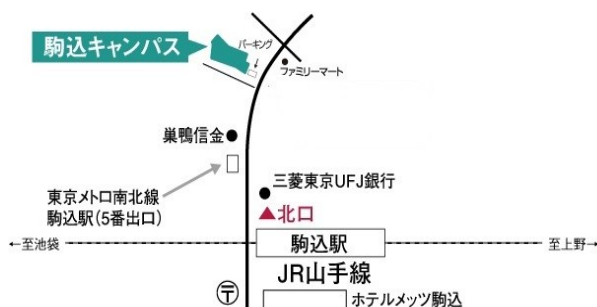
○教員養成の立場から

山本 浩二 (文教大学、実践健康教育士)

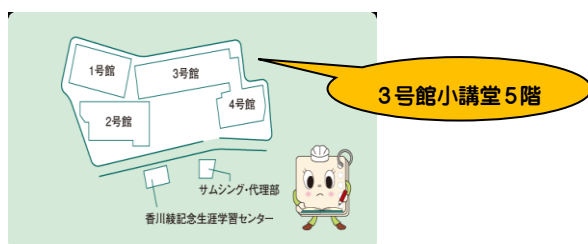
※下記にご記入の上 Fax 049-284-2861 までお送り下さい。

氏名	所属
連絡先 (メールアドレス 必須 ・電話番号)	
下記のいずれかに○をおつけ下さい	
1. 当機構社員 (NPO 法人日本健康教育士社員) 2,000 円)	2. 実践・専門健康教育士 (2,000 円)
3. 日本健康教育学会 (2,000 円)	4. 学生 (学生証提示) (2,000 円)
5. 非社員・非学会員 (3,000 円)	

会場アクセス



所在地 / 〒170-8481 東京都豊島区駒込 3-24-3
JR 山手線・東京メトロ南北線駒込駅より徒歩 3 分)



主催: 特定非営利活動法人 (NPO 法人) 日本健康教育士養成機構

後援: 一般社団法人日本健康教育学会・NPO 法人日本健康教育士養成機構健康教育士の会